

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	公園・児童遊園管理(巡回警備)					所管	都市づくり部 公園課	
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] [小 柱] [施 策]				[事業開始]	平成16年度	
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立公園条例、東京都台東区立児童遊園及び運動公園条例			[終了予定]	- 年度
	事業対象	一般区民等及び公遊園施設						
	事業目的	公遊園における不適切利用者に対する「声掛け」・「指導」及び公遊園施設の故障などについて、警備員による巡回を行い、公遊園の安全性や快適性を高める。						
	事業内容	利用者の多い公遊園を対象に、1日6回程度警備員を巡回させ、不適切利用者を利用指導等を行う。 巡回対象公遊園：34公遊園						
	委託の有無	全部委託	委託内容		公遊園等24時間巡回警備			
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	不適切利用者への指導件数	件	7,000	10,806	9,060	8,668	
	成果指標							
	決算額	(単位：千円)			24,373	29,535	29,535	
	事務事業コスト	(単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)		4,846	5,213	5,796	
			物にかかるコスト(物件費・維持補修費)		24,374	29,535	29,535	
			その他のコスト(扶助費・補助費など)		0	0	0	
			総経費		29,220	34,748	35,331	
	財源項目	(単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)		0	0	0	
			その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)		0	0	0	
一般財源(区負担額)			29,220	34,748	35,331			
前回評価から改善した事項	報告書に施設の故障個所の写真を添付させ、修繕などの対応が迅速にできるようになったこと。 公園トイレ内にチェック表を設け、巡回時には特に注意を払っている。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	公遊園の安全性・快適性を高めるため、不適切利用に対する巡回警備は必要である。					
	効率性	4	利用の多い公遊園を中心に巡回、苦情・要望に対する即時対応等の効率化を図っている。					
	手段の適切性	4	警備の専門会社に委託することで、不適切利用への抑止力として機能している。					
	目的達成度	4	公遊園の維持管理に関して、公遊園の環境改善の一助となっている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
公遊園の安全な利用のため、不適切利用者に対して、警備員等による直接的な注意・指導は必要である。						維持		